

日本臨床泌尿器科医会会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 53 号

年 頭 所 感

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

平成30年の新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸をまずお祈り申し上げます。平成の年号は来年4月30日に終了し、5月1日より新しい天皇を迎え、新しい元号になることになりました。国民の象徴である天皇家の繁栄を願いながら、我々も人生を前向きに生きてゆくことにしたいものです。

まず最初に昨年末に御逝去されました2代目会長吉田英機先生について御報告致します。昨年6月3日明治記念館で行われました日本臨床泌尿器科医会創立20周年記念式典は会員の皆様の応援もあり盛大に取り行われました。その中で日本臨床泌尿器科医会の発展に寄与された御功績に対し、感謝状を差し上げたのです。その時はお元気に出席されていましたが、12月13日に帰らぬ人になられ、12月23日東京・桐ヶ谷斎場にて告別式が行われました。御遺族はじめ関係者の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。

さて、本年4月は診療報酬・介護報酬の同時改定の年ではありますが、12月17日(日)日本経済新聞に、社会保障予算の大枠固まるという記事が出ております。本体部分+0.55% 薬価-1.45% 全体として-0.9%という記事であります。9月下旬に横倉会長と会う機会がありましたが、その時の話題と一致していたことを思い出します。

又、今回は永年の懸案であった在宅医療における内科(総合診療医)による、主治医のみが計画的に診療できる「訪問診療料」に他科も参加できるようになるとの話聞いております。

入院にあっては内科の主治医を中心に、眼科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科などベッドを囲んでそれぞれの専門的分野について意見を述べ診療することが可能でしたが、退院して在宅医療になると、主治医1人がすべてに対応するということに対し、医療側からみるときちんとした医療ができないとの問題提起してまいりました。そのことがようやく聞き入れられたと認識しております。結果として、月に1回なのか、週に1回なのか、往診で

はなく訪問診療なのか、点数の設定はどうなるのか、現在のところははっきりしませんが、高齢者の排尿管理に取り組んできた泌尿器科医が在宅医療に足を踏み入れる第一歩になるのではと期待しております。私自身、平成18年度、20年、22年度と3期6年日本医師会診療報酬検討委員会で要望項目の1番にだしてありました「在宅排尿指導管理料」は在宅の現場で泌尿器科が診療できるようにすることが隠れた理由でありました。排尿管理に対する医学管理料はどうなるのか分かりませんが、これは注目していきたいと考えます。

私は以前よりPMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)の専門委員をしておりますが、9月11日同会議室で尿潜血キットのOTC化の議論に参加しました。6人の委員の中1人だけ反対としましたがその後、日本泌尿器科学会を経て、日本臨床泌尿器科医会の意見をということで書類が来ておりますが、いかが取り扱うか迷っております。

2月11日に大阪のワシントンホテルプラザで泊まり込み2日間のワークショップを開催することになりました。日本臨床泌尿器科医会の今後の方針を議論することになっております。今回は理念、保険診療、オフィスウロロジーの3点に絞っております。遅きに失したとの意見もありますが、議論をしてゆく場を作ることは意義があると考えます。その結果について又、ご報告させていただきます。

今年もよろしくご指導お願い致しまして年頭の御挨拶とします。

平成30年の新春を迎えて

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生にはお正月いかがお過ごしでございましたか。

さて、来年は元号が変わりますので今年を平成を締めくくる年となりますが、国内外には問題が山積しており、慌ただしい年となりそうに思われます。日本臨床泌尿器科医会も昨年20周年を迎え新たな事業展開と飛躍のため課題が山積しております。勤務医については男女共同参画を含む働き方改革、泌尿器科診療の専門性の向上、開業医においては高齢化社会におけるオフィスウロロジーの役割などが考えられますが、泌尿器科学会、日本医師会、地域の臨床医会あるいは行政との連携、そして患者さんの理解が問題を解決するが鍵になるのではないかと愚考しております。今年も会員の先生方のご援助、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

新春のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 副会長 山口 秋人

あけましておめでとうございます。

めでたい20周年記念行事の余韻を思い出しながら、めでたい新年を迎えます。宮崎会長を筆頭に皆様のおかげで、記念祝賀会が本当に厳かにかつ盛会裏に終えられて、いまだに感激しています。

さて今年は新年早々、大阪において日本臨床泌尿器科医会ワークショップが開催されます。2月11日から1泊2日の日程で、5班に分かれて行われる予定です。日本臨床泌尿器科医会の事業部には、総務部、学術部、社会保険部、医療対策部、広報部、財務部、勤務医会部およびオフィスウロロジー部があります。私は学術部の一員で、一応まとめ役となっています。たいしたことも出来ずに今まで来ていますので、プレッシャーは相当です。しかも、学術部の担当は、臨床検討会、オフィスウロロジー、各地の講演会および市民公開講座の支援とありますのでたいへんです。私一人では、とうてい不可能ですので、今回のワークショップ参加のみなさんにお手伝いいただく所存ですが、臨床検討会およびオフィスウロロジーの支援だけでも不安です。しかしながら、多くの理事の方々にご協力とご分担をいただければ今まで以上のことができるのではないかと少々楽しみにもしています。また、各地の講演会および市民公開講座の支援となりますと、私どもだけでは到底できません。各地の会員さんにお手伝いをお願いするしか道はありません。どうぞ、思いついたことがありましたら、事務局もしくは私を含む学術部のメンバーへご連絡ください。可能な限りの支援をさせていただきたいと考えています。

微力ですが、本年も日本臨床泌尿器科医会のために尽くせたらとの思いをもって、新たな年を生きるつもりです。みなさん、今年も本当によろしく願っています。

オフィスウロロジー部の発足について

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 増田 光伸

日臨泌の事業部の一つとしてオフィスウロロジー部が発足致しました。オフィスウロロジー部の役割として、①「保険審査」および「診療報酬」に関する問題点或いは要望事項の受け皿として活動し、オフィスウロロジーの診療の向上に貢献する。②オフィスウロロジーが発展するために必要なエビデンスを集積し、日臨泌会員に発信する。③日本泌尿器科学会専門領域委員会オフィスウロロジー部門をサポートする。

以上の3つを大きな柱として活動して行くことを考えております。

全国を7ブロックに分け、各ブロックには責任者を置かせて頂きました。更に、会員数の多い都道府県には委員を配置させて頂きました。

今後の具体的な活動ですが、「平成30年3月のレセプト点数」および「保険審査に関する問題点および要望事項」のアンケート調査を行う予定です。オフィスウロロジー部の活動が、日臨泌の更なる発展に繋がればと思っております。

社会保険部より

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 正井 基之

新年明けましておめでとうございます。

この原稿を書いている時点ではまだ診療報酬の改定率が決まっておきませんのではっきりしたことは言えませんが、薬価改定にて削られた医療費が診療報酬の少しでも本体部分の改定に充てられるか微妙なところです。大きなマイナス改定が行われないう願っています。日本医師会の社会保険診療報酬検討委員会の議論を聞いていると内科中心の議論となっていて、気を付けていないと泌尿器科の不利益になるような議論も出てきます。そういう時にも泌尿器科のために毅然として意見を述べていきたいと思っています。

臨床泌尿器科医会ではオフィスウロロジー部会が発足し、活動が開始される予定です。オフィスウロロジー部会から寄せられた要望は内保連を通して上げていくことになっていますが、日本医師会の診療報酬検討委員会を通じても発信していきたいと思っています。オフィスウロロジー部会が会員の意見を聞き、要望をまとめる場としてうまく機能することを願っています。

西日本泌尿器科学会総会 保険教育プログラムを引き受けて

日本臨床泌尿器科医会 理事 赤枝 輝明

4年前倉敷での西日泌総会の保険委員会で宮崎良春先生と隣り合わせになり、今年までは自分が担当している保険教育プログラムの講師を来年以降引き受けてほしいと耳打ちされました。会が終わってからゆっくり相談するつもりが先生は途中で退席され、仕方なく斎藤忠則先生に相談したところ「いいんじゃないですか」できますかねー?「できますできます」とあっさりとどめをさされました。保険教育プログラムは日本臨床泌尿器科医会が担当し講師の推薦が行われていますので、理事になったばかりで社保審査員をしている事より白羽の矢が立ったようです。東部総会での斎藤先生の講演資料をいただき同じようにやればいからとのことでしたが、斎藤先生のように経験知識が豊富でもなく立て板に水の様にはいきません。それでも資料、青本を何度も読み込み何とか責は果たせたのかなとは思っています。当初90分でしたが2年目より60分に短縮されました。90分は長いですがゆっくりお話しできてよかったように思います。講演後は閉会式ですので時間延長だけはしないように気を使います。指導医教育コースに指定されていますので会場には年配の先生が多いようですが、若い先生にも知っておいてもらいたい内容も多くあり参加を期待しています。

日本臨床泌尿器科医会 第14回臨床検討会 ご挨拶

日本臨床泌尿器科医会第14回臨床検討会 会長 賀屋 仁
南はとがや泌尿器科・内科クリニック顧問
日本臨床泌尿器科医会 理事

会員の皆様には、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

例年開催の臨床検討会ですが、2017年に日本臨床泌尿器科医会創立20周年行事が行われたため今回の第14回臨床検討会は2年ぶりとなります。過去13回までの検討会においては諸先生方のご協力を得て貴重な発表や、活発な討論がなされてきました。第14回臨床検討会においても、先生方の豊富な経験を通じた様々な演題をもとに有意義な意見交換ができればと思います。

今回の臨床検討会のメインテーマは「夜の排尿管管理で朝はすっきり」とします。我が国は2025年には団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となる超高齢社会の時代を迎えることになり、医療費の増大が大きな課題となっています。それに伴い、現在国では医療と介護の連携や地域医療構想の推進などの医療介護の提供体制の改革が進められています。このように後期高齢者が増える中において、要支援、要介護の必要な高齢者を増やさない様にする、又は減らすようにすること、即ち健康寿命を延ばすことにより医療・介護に関するコストが削減できると考えます。そして我々泌尿器科医としては夜間の生活の中の排尿及び排尿に関わる睡眠に関与し、患者さんの朝の目覚めをすっきりさせることでそのことに貢献できるものと考えます。

高齢者の朝の目覚めをすっきりするには夜間排尿をコントロールすることが必要と考え、この点をテーマとして特別講演を日本大学医学部泌尿器科学系泌尿器科学分野主任教授 高橋 悟先生にお願いしています。

2018年4月には診療報酬、介護報酬の同時改定、医療費適正化に向けた都道府県が策定した「地域医療構想」の本格稼働、国民健康保険運営の市町村から都道府県への移管など多くの制度改正があるため各医療施設は大きな変革が求められています。ただ、どの医療施設においても医師と患者さんとの関係は変わらないと思います。その患者さんへの関わり方についても会員の皆様にご意見を発表していただき、また活発に討論していただければと思います。

会場はさいたま市のパレスホテル大宮です。JRの大宮駅の近くですので東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線からのアクセスは良いです。ただ東海道新幹線、羽田空港等をご利用の先生方には乗り換え等でご不便をおかけします。10月下旬は紅葉も始まり気候の良い季節ですので、是非とも多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2017年日本泌尿器科学会中部総会 保険教育プログラムを担当して

済生会京都府病院 泌尿器科 前立腺センター長 北村 浩二
日本臨床泌尿器科医会 理事

ご承知のように、JUA教育員会では会員の卒後教育に保険教育の重要性が認識され、総会・東部・中部・西部総会で統一された内容の保険教育プログラムが取り上げられています。私は3年前の2015年の中部総会で清原久和先生のピンチヒッターとして登壇させていただき、以降日本臨床泌尿器科医会からご推薦をいただきこのプログラムの講演を担当させていただいています。前述のように「統一された内容」ですので、発表内容は前泌尿器科学会保険委員長の齋藤忠則先生がお作りになられたスライドをいただき、私なりに若干の変更は加えるもののほとんど元のままで講演させていただいています。一からスライドを作ることはなく楽と言えば楽ですが、保険に関してのスライドは活字にして良いものとそうでないものの微妙なバランスがあり、スライドそのものよりはその行間が大切になってきます。齋藤先生と異なったことを口走ってしまうわけにはいかず、それなりに気を使う発表です(特に今年の発表では客席に齋藤先生が座っておられ、心強い反面プレッシャーもかなりありました)。

講演内容は、保険診療の仕組み、療養担当規則の基礎的解説、診療報酬の改定されたものの抜粋、適応外使用に関して、さらには日本臨床泌尿器科医会についてなどです。60分の講演時間と長丁場で時間配分が難しく、去年は制限時間ギリギリに滑り込んだ感じになってしまいました。今年は座長をお勤めいただいた清原先生から質問時間を5分作るようにとご指示をいただき、カウントダウンされる卓上のカウンターとにらめっこしながら、何とか4分ほどの余裕をもって発表を終えることができました。来年の中部総会でもまたご推薦いただけることになりましたら、精一杯務めさせていただきますので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

事務局長より

事務局長 秋山 喜久夫

新年明けましておめでとうございます。昨年は日本臨床泌尿器科医会の運営に種々ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

- ① 第82回日本泌尿器科学会東部総会(東京)では、斎藤忠則常務理事、小川肇理事、第67回日本泌尿器科学会中部総会(大阪)では、清原久和副会長、北村浩二理事、第68回西日本泌尿器科学会総会(大分)では、赤枝輝明理事に保険教育プログラムの講演「知って得する泌尿器科保険診療の基礎的知識」をご担当いただきました。日泌の先生方にもお役に立てたことと思います。担当理事の先生方、ご苦勞様でした。
- ② 日本臨床泌尿器科医会第21回総会・講演会・全国審査委員懇談会を第106回日本泌尿器科学会総会時(平成30年4月22日・京都)にて行います。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。尚、本学会を主催されます小川 修教授には既に表敬訪問を済ませ、弊会の為色々ご尽力、ご高配を賜る旨の有難いお話をいただきました。厚く御礼申し上げます。
- ③ 第14回臨床検討会は日本臨床泌尿器科医会理事の賀屋 仁先生が会長でパレスホテル大宮(埼玉県大宮市)、10月28日(日)にて行うべく準備をしていただいております。同封の演題募集要項をご参照の上、たくさんの演題応募ならびに会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

また、今後も会員の先生方にお役に立つ情報がありましたら、ホームページ等でお知らせできればと思っております。本年も引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、昨年10月に日本を立て続けに襲いました台風21号、22号の被害に遭われました方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興ができますよう祈念申し上げます。

日本臨床泌尿器科医会 第21回総会・講演会開催のご案内

下記の要領にて会議を開催いたします。講演会は渡辺俊介先生をお招きの予定をしております。関係各位が万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内旁々お願い申し上げます。

記

日時：平成30年4月22日（日）12：50～

場所：国立京都国際会館 2F RoomB-1

第106回日本泌尿器科学会総会を主催されます会長 小川 修先生のご厚情により総会会場を拝借しております。

■ 第21回総会 12：50～13：50

議案 第1号議案：議長の選出

第2号議案：平成29年度事業報告

第3号議案：平成29年会計報告

第4号議案：役員について

第5号議案：平成30年度事業計画案

第6号議案：平成30年度予算案

第7号議案：その他

日本臨床泌尿器科医会・第21回総会のご案内の往復葉書を3月上旬にお送りさせていただきます。第21回総会にご出席される方もご欠席される方も出欠葉書を投函ください。また、欠席されます方は、必ず委任状に署名・捺印をお願いいたします。

■ 講演会 13：50～14：50（予定）

演者：渡辺俊介 先生

以上

日本臨床泌尿器科医会平成30年事業計画案

* 会報発行

1月 会報第53号発行
8月 会報第54号発行

* 総 会

4月22日 第21回日本臨床泌尿器科医会総会(京都)
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(京都)
8月頃 第107回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(千葉)

* 会長講演

2月8日 西宮市泌尿器科医会総会

* 第14回臨床検討会

10月28日 埼玉 パレスホテル大宮

* 全国保険審査委員懇談会

3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
4月22日 第32回全国保険審査委員懇談会(京都)

* 日本臨床分科医会

1月 第19回代表者会議
8月 第20回代表者会議

* 保険教育プログラム・保健委員会

4月22日 総会(京都)
10月12日～10月15日 東部総会(東京)
10月 4日～10月 7日 中部総会(名古屋)
11月 1日～11月 4日 西日本総会(長崎)

* 理事会

2月12日 第1回理事会(大阪)
4月22日 第2回理事会(京都)
10月28日 第3回理事会(埼玉)
7月頃 常任理事会

* その他

1月25日 「医学生・研修医をサポートするための会」(富山)
2月11日～12日 ワークショップ

訃 報

名誉会長 吉田 英機 先生 (平成29年 12月)

顧 問 富樫 正樹 先生 (平成29年 9月)

この場をお借りして、謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇ 事務局より ◇

- * 会報第53号をお届けいたします。
- * 平成30年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。
年会費 開業医・開設者 20,000円
勤務医・その他 3,000円
- * ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- * 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- * 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- * 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発 行 日／平成30年1月10日

発 行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製 作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次